

学校法人藤天使学園
中期計画
2026-2030

Fuji-Tenshi Vision2031

2026年3月
学校法人藤天使学園理事会

目次

建学の精神	1
中期計画の趣旨	1
今後の学園の在り方・課題について	2
中期計画	3
2031年度に達成する将来像と重要目標	3
重要目標を達成するための重点項目	4

建学の精神

藤天使学園は、ともにカトリック精神を建学の理念とする学校法人藤学園と学校法人天使学園がカトリック教育を継承するための基盤強化と急激に進行する少子化等に備えるために、2024年4月1日に法人合併により誕生しました。

本学園は「愛をとおして真理へ」の建学精神のもとカトリック教育を通じ、神によって与えられた一人ひとりのいのちの尊厳を大切にする教育を継続してきました。これからも地域社会に貢献できる有為な人間を育成し、社会の持続可能な発展に貢献していきます。

中期計画の趣旨

本学園は2025年に創立100周年という節目を迎えました。「一人ひとりの咲くべき花を 咲かせよう～うつくしく やさしく しなやかに～」を教育のモットーとし、建学の精神「愛をとおして真理へ」のもと、学生・生徒・園児の能動的な学修を促し、支援してきました。

一方、急激な少子化の進展に伴い、各設置校における入学者数の減少、高等教育では大学改革の進捗状況に応じた国等の補助金配分の見直しなどにより、学園の経営環境は厳しさを増しており、今後も学生・生徒・園児の獲得に向けた競争はますます激しくなっています。

私立学校法の改正など学園を取り巻く環境は大きな変革の時を迎え、時代の変化に適切に対応する必要があります。

このような状況を踏まえ、建学の精神、教育モットーを堅持しながら、時代の変化に適応し発展を続けていく学園を目指して、2026年度から2030年度までの5年間を目途とする中期計画を策定しました。中期計画「Fuji-Tenshi Vision2031」の骨子は次のとおりです。

- 1 地域社会やグローバル社会と共生・共創し、カトリック精神を基盤とする研究教育活動を通して社会の持続可能な発展に貢献します。
- 2 学生・生徒・園児の能動的な学修を促す先進的かつ多様な教育を組織的に実践することにより、主体的に考え行動でき、社会で必要な問題解決能力を持つ「自らの未来を切り拓く力」を備えた人間を育成します。
- 3 教職員が学生・生徒・園児と共に成長する意識を持ち、常に教育改革と学園の安定的な運営に全力で取り組み、総合学園として地域の発展に貢献します。

今後の学園の在り方・課題について

各設置校の在り方について

- ・入学者数の減少を見据えた各設置校の教育組織及び事務組織の在り方について見直し、社会のニーズを踏まえ学生・生徒・園児の確保に努めます。
- ・収容定員の充足状況も見据えて、時期を失することなく、各設置校の在り方についても必要な見直し・検討を行います。
- ・藤女子大学と天使大学はともに管理栄養士養成校であり、入学定員未充足の状況、受験者の動向、今後の18歳人口の減少等を踏まえて、学園として管理栄養士の養成を天使大学に一本化します。

キャンパスの整備と学生確保について

- ・2027年4月に石狩市にある藤女子大学花川キャンパスを札幌市にある藤女子大学北16条キャンパスに統合し、通学の利便性を高め学生確保に努めます。
- ・統合後の北16条キャンパスの学内環境の整備、移転後の花川キャンパスの有効活用を検討します。
- ・老朽化した設備を計画的に更新し、安全面・衛生面において、快適な教育環境を提供します。
- ・キャンパス統合により、職員を再配置し、業務の属人化を見直すとともに、定員確保に向けた全学協力体制を構築し、学生確保に取り組みます。

財政基盤の維持について

- ・財政において、設置校毎に財政健全化を目指し、収入の増加策、支出の削減策を検討し、収支改善を図ります。
- ・学生生徒等納付金と人件費等のバランスをふまえ、適正な教職員数になるように努め、経費の抑制を行います。
- ・大学間の教学部門・事務部門の連携を強化し、簡素で効率的な体制の整備に努めます。

教職員の在り方について

- ・2024年に誕生した本学園をさらに発展させていくために、これまで培ってきた各設置校の理念・長所を互いに尊重しあい、教職員間の人事交流を積極的に進めます。
- ・中期計画で定めた目標・内容を達成するために必要な課題を自ら考え、その解決のために行動できる人間を育成します。

中期計画

2031年度に達成する将来像と重要目標

藤天使学園中期計画2026-2030では「未来を創る人間を育成し、総合知で地域社会を牽引する学園へ」を中期ビジョンとして、2031年度の到達目標として次の3つの重要目標を設定しました。

1 学生・生徒・園児の夢の実現を支援し、VUCA時代に求められる有為な人間を輩出する学園

自己実現に向けて主体的に考えて行動することができ、AIを効果的に活用できる人間の育成を通じて、ステークホルダーの満足度向上を目指します。

2 持続可能な社会の発展に貢献する地域の拠点となる学園

地域社会との積極的な連携により教育研究成果を地域へ還元し、持続可能な地域社会の発展に貢献します。

3 将来にわたって永続的に発展し続ける学園

持続的成長を実現する経営基盤・ガバナンスを強化し、経常収支差額の黒字化を目指します。

中期計画

重要目標を達成するための重点項目

3つの重要目標を達成するために、本学園では次の7つの重点項目・基本方針を設定しました。

各設置校においては、重点項目に対する行動目標を設定し、毎年度作成する事業計画で設定した目標の進捗状況の確認を行います。

学園全体で共通認識をもち、業務の改善や効率化に役立てます。

教育改革

基本方針

学修者本位の教育への質的転換を目指して、学修者のニーズや習熟度、多様な学び方の変化に対応し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ります。

学生支援

基本方針

多様な背景をもった学生生徒等一人ひとりが、充実した学園生活を送ることができるよう支援を行うとともに、自らの未来を切り拓く力を備え、社会で活躍できる人間を育成するための環境整備を推進します。

研究活動

基本方針

総合学園としての多様性を活かし、特色ある研究や地域社会の課題解決など社会ニーズに応える研究を推進します。

グローバル

基本方針

基礎学力・豊かな教養・優れた語学力を持ち、地域並びに世界の発展に貢献できるグローバル市民を育成します。

社会共創・ ネットワーク強化

基本方針

教育・研究の成果を社会に還元して、地域の活性化に寄与するとともに、地域社会に貢献できる人間育成を目指し社会連携活動の強化に取り組みます。

また、保護者に対する情報提供、要望・相談の受入れ体制、同窓会との連携及び卒業生に対する情報提供の充実を図り、ステークホルダーとのネットワーク強化を推進します。

入学者確保・広報・ ブランディング

基本方針

デジタルメディア等を活用した広報を促進し、受験者及び保護者等との接触機会を増やすことで志願者の増加、入学者の確保を図ります。併せて学園ブランドの再構築を図ります。

経営基盤強化・ ガバナンス

基本方針

持続的成長を実現する経営基盤強化のため、社会及び外部環境の変化に対応して健全で安定した財務基盤を構築維持するとともに、将来構想を推進するための組織・人事・ガバナンス等の経営基盤の強化を進めます。